

2027年3月期

中間期決算説明会

受注高・受注残は大幅増加、
案件の売上計上時期後ろ倒しにより
中間期は減収減益

2026年11月19日

ワイエイシイホールディングス 株式会社

（証券コード：6298　東証プライム）

https://www.yac.co.jp

▲将来見通しに関する記述についての注意事項

この報告資料に記載された当社の将来の見通しは、現時点で利用可能な情報に基づいています。しかし、以下の要因により、実際の売上高および利益は予測値と大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

- 当社の主な顧客である半導体業界などは、技術革新が急速に進み、競争が激しい市場です。
- 世界経済、為替レートの変動、業界の市況や設備投資の動向といった外部要因が、当社の業績に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性があります。

概要

1. ご挨拶　代表取締役社長　**百瀬　武文**

2. 2027年3月期中間期連結決算ハイライト　取締役常務執行役員　**畠山　督**

3. 各関連事業報告

-①半導体・メカトロニクス関連事業　取締役執行役員　**小林　英明**

-②医療・ヘルスケア関連事業

ワイエイシイエレックス（株）代表取締役社長　**花木　浩伸**

-③環境・社会インフラ関連事業　取締役専務執行役員　**大倉　章裕**

4. ワイエイシイグループの展望　代表取締役社長　**百瀬　武文**

5. Q&A

1.　ご挨拶

ワイエイシイホールディングス株式会社

代表取締役社長　**百瀬　武文**

2.　2027年3月期中間期決算ハイライト

ワイエイシイホールディングス株式会社

取締役常務執行役員　**畠山　督**

2027年3月期中間期ハイライト

2027年３月期連結中間決算期総括について

【P/L概況】

- 今次2027年3月期中間決算は、2026年3月期中間決算比で「減収減益」と残念な結果に
- 今次中間決算「受注高・受注残」ともに著増する一方、当該受注シフトに伴う「連結売上高の絶対額不足」に起因する粗利額の伸び悩みにより、営業利益以下、各段階利益は減益を余儀なくされた形に

P/L

減収減益

【B/S概況】

- 総資産額は、2026年3月期末比　0.5%増の440億円と微増にとどまる。
- 資産側では「売掛金の回収」及び「当該回収資金滞留に伴う預金増」が進む一方で、今年度末売上が見込まれる「棚卸資産が増加」するなど、B/S内での科目間振替が発生。
- 負債・資本側も「配当支払い・決算賞与資金借入」等により同様の振替が発生。

B/S

総資産微増

【C/F概況】

上記の通り、「運転資金要因」大幅改善により、営業C/Fは引き続き「入超状態」を継続

C/F

営業C/F黒字

2027年3月期中間期ハイライト

【受注概況】

- 「受注高」は前年同期比７割増の２０７億円、同様に「受注残」は前期末比４割増の２６２億円と受注高・受注残ともに高水準で推移。

受注状況

高水準

【中間配当概況】

- 今次中間配当金は一株当たり、前年同期比＋２円増の「２２円/株」を決議済み。
  尚、期末配当金（一株当たり２３円）についても変更なし。

配当

中間増配

【業績見通し】

- 見通しに変更なし

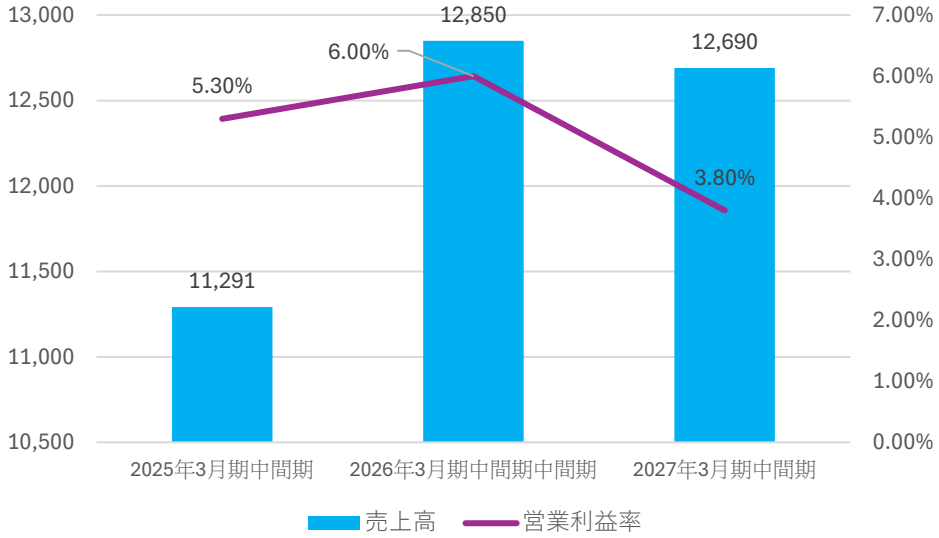
見通し

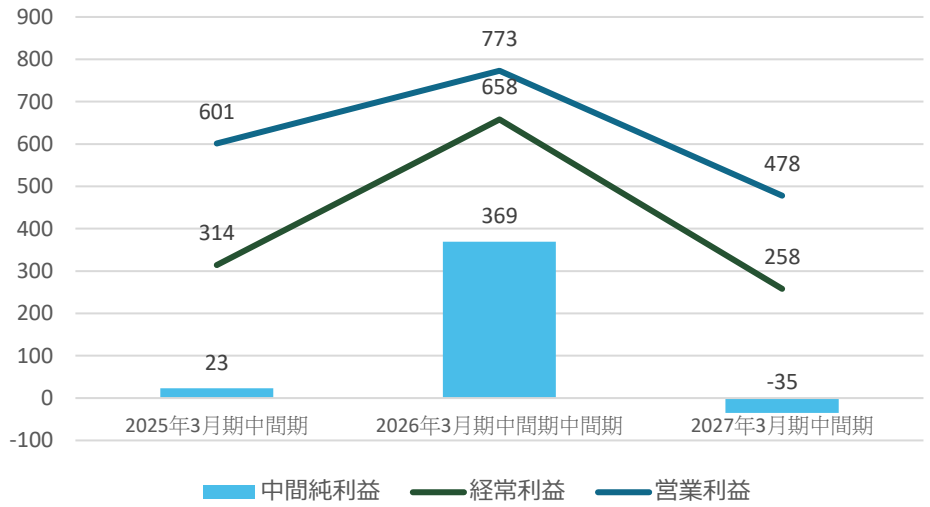
変更なし

連結損益状況

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期 実績	2026年3月期 中間期 実績①	2027年3月期 中間期 実績②	増減額 ②－①	増減率 同左	通期業績 予想・進捗率
売上高	**11,291**	**12,850**	**12,690**	**△159**	△1.2%	35,000 (36.3%)
粗利益	**3,098**	**3,549**	**3,574**	**24**	0.7%	
同率	*27.4%*	*27.6%*	*28.2%*			
営業利益	**601**	**773**	**478**	**△294**	△38.1%	3,300 (14.4%)
同率	*5.3%*	*6.0%*	*3.8%*			
経常利益	**314**	**658**	**258**	**△400**	△60.7%	
中間純利益	**23**	**369**	**△35**	**△404**	△109.5%	





※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

セグメント情報

➢ **半導体は増収減益、医療は部品遅延で大幅減益、環境は増益**

半導体・メカトロニクス関連事業（以下、半導体）医療・ヘルスケア関連事業（以下、医療）環境・社会インフラ関連事業（以下、環境）

（単位：百万円）

	事業セグメント			小計	調整	合計
	半導体	医療	環境			
2026年3月期 中間期 売上	4,977	2,779	5,094	12,850	-	12,850
2026年3月期 中間期 営業利益	746	151	303	1,202	△429	773
2027年3月期 中間期 売上	5,447	2,346	4,896	12,690	-	12,690
2027年3月期 中間期 営業利益	498	4	408	911	△432	478
売上増減	470	△432	△197	△159	-	△159
利益増減	△248	△146	104	△290	△3	△294

※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

セグメント別・地域別売上

（単位：百万円）

	2025年9月				2026年9月				合計増減金額
	半導体	医療	環境	合計	半導体	医療	環境	合計	
日本	3,599	2,491	3,727	9,819	3,184	2,201	3,589	8,976	△843
中国	368	-	1,087	1,455	262	-	785	1,047	△407
アジア他	999	79	168	1,247	1,989	135	382	2,508	+1,260
その他	9	207	110	327	10	9	139	158	△168
合計	4,977	2,779	5,094	12,850	5,447	2,346	4,896	12,690	△159

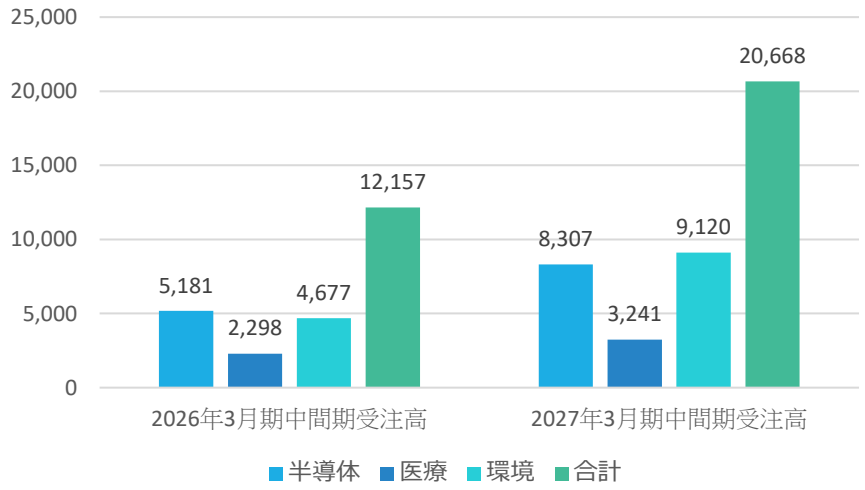
※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

受注状況

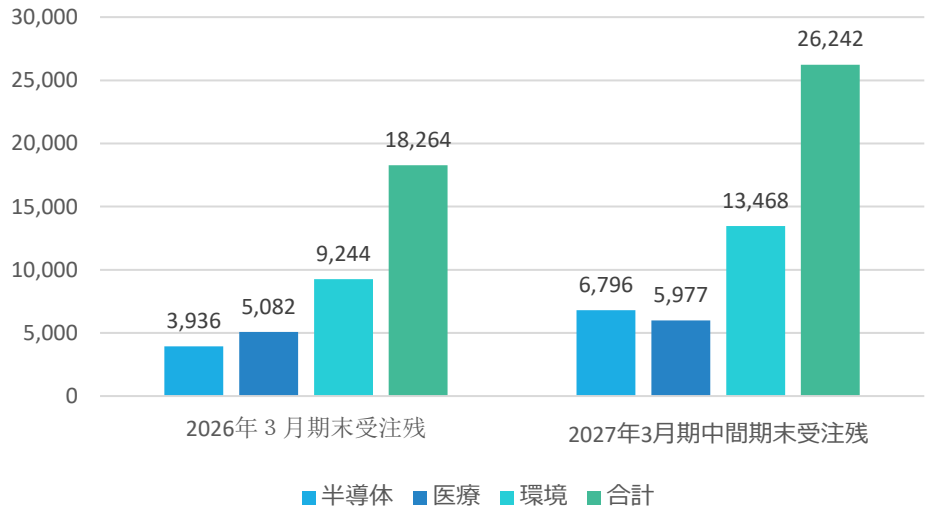
（単位：百万円）

セグメント	2026年3月期 中間期実績		2026年３月期 期末実績①		2027年3月期 中間期実績②		増減 ②－①
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残	受注残
半導体	5,181	4,937	9,696	3,936	8,307	6,796	+2,860
医療	2,298	4,236	5,874	5,082	3,241	5,977	+895
環境	4,677	8,296	10,991	9,244	9,120	13,468	+4,224
合計	12,157	17,470	26,562	18,264	20,668	26,242	+7,978

前年同期比受注高



期末比受注残



※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

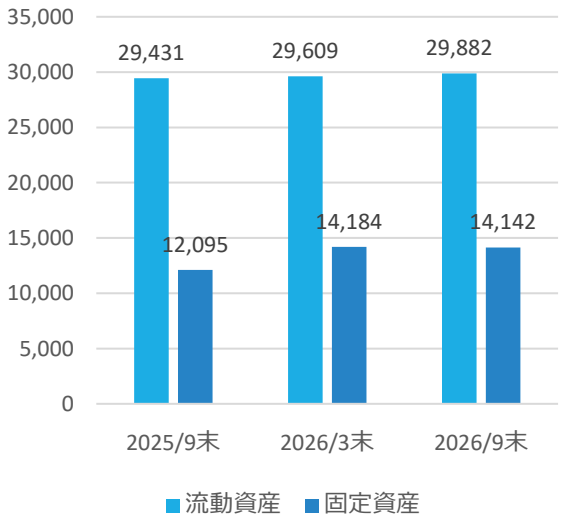
財政状態

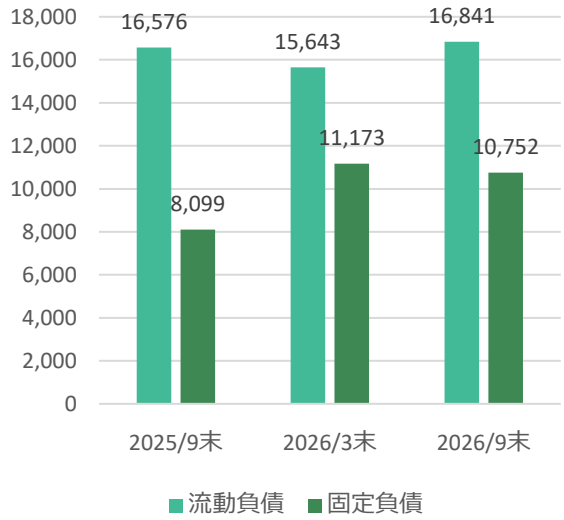
（単位：百万円）

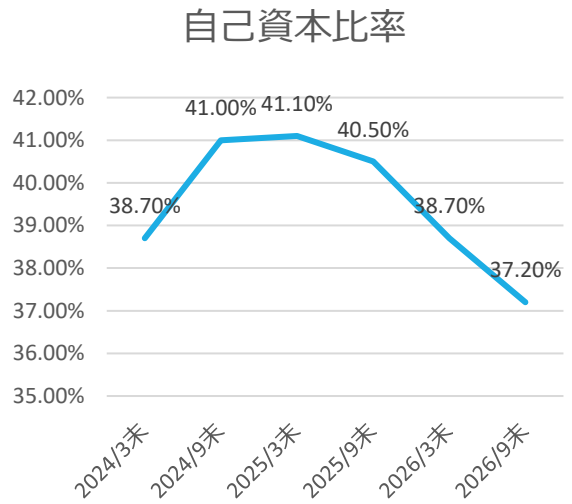
	2025/9末	2026/3末①	2026/9末②	増減②-①
流動資産	29,431	29,609	29,882	272
固定資産	12,095	14,184	14,142	△42
総資産　計	41,527	43,793	44,024	230
流動負債	16,576	15,643	16,841	1,200
固定負債	8,099	11,173	10,752	△420
純資産　計	16,850	16,976	16,433	△543

➢ 連結自己資本比率

	2024/3末	2024/9末	2025/3末	2025/9末	2026/3末	2026/9末
自己資本比率	38.7%	41.0%	41.1%	40.5%	38.7%	37.2%







※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

キャッシュフロー

（単位：百万円）

	2026/3期 中間期実績①	2026／3期 期末実績	2027／3期 中間期実績②	前年同期比増減 ②－①
前期末現金同等物	7,094	7,094	8,398	-
現金及び現金同等物に掛かる換算差額	-	-	△36	-
営業活動C/F①	+508	+2,996	+1,380	+872
投資活動C/F②	△742	△2,193	△209	+532
財務活動C/F③	+23	+477	△119	△142
為替換算④	△35	+22	+36	+72
期中増減①～④	△246	+1,303	+1,087	-
当期末現金同等物	6,848	8,398	9,450	+2,601

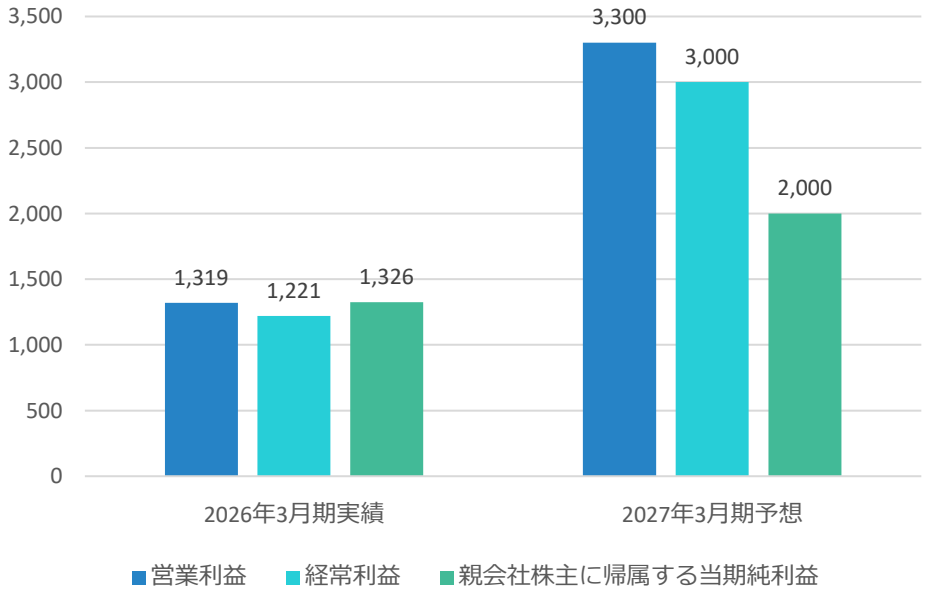
※各数値は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計、増減額および増減率が表示数値による計算結果と一致しない場合があります。

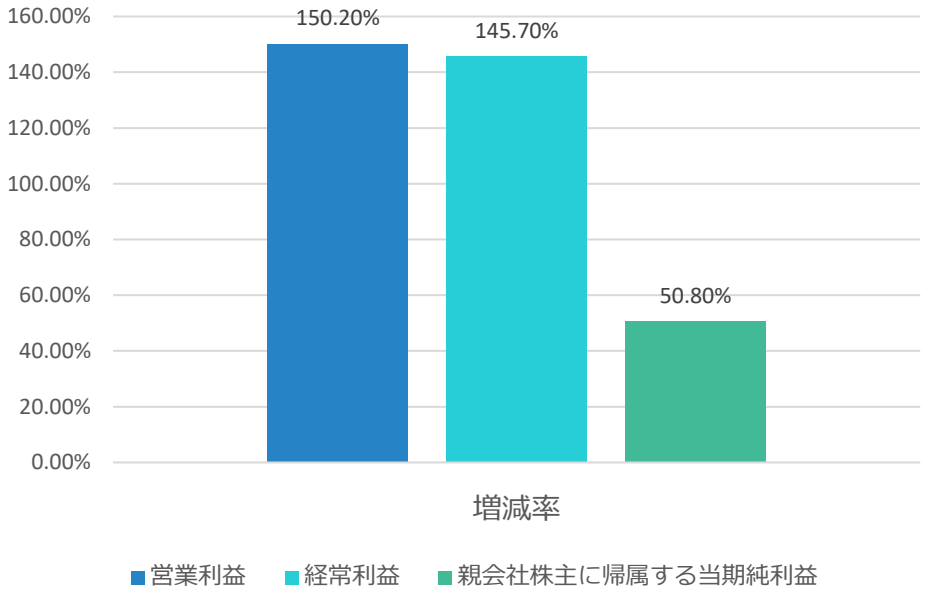
通期見通し

➢ **通期業績予想を据え置き、第４四半期を中心に受注残の売上転換を推進**

（単位：百万円）

	売上	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当り当期純利益（円）
2026年3月期 実績	26,460	1,319	1,221	1,326	72.43
2027年3月期 予想	35,000	3,300	3,000	2,000	113.73
増減率	32.3%	150.2%	145.7%	50.8%	–



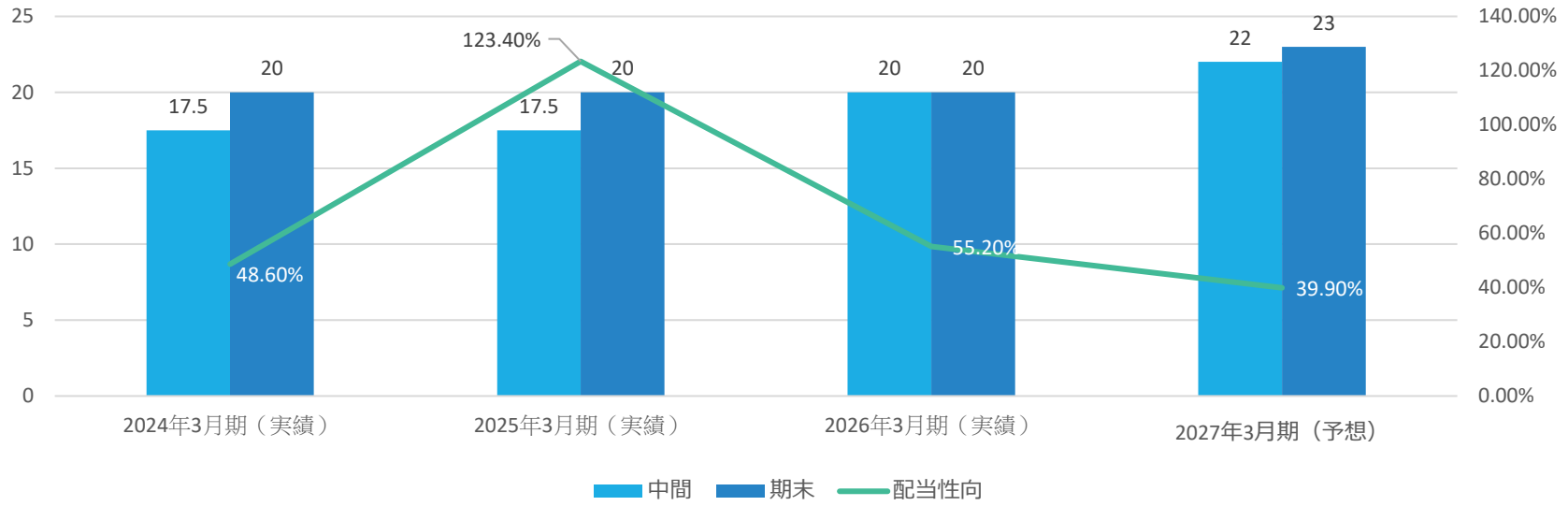


2027年3月期通期配当予想

➢ 2027年3月期　通期配当予想　　→　１株当たり5円の増配を予定

(単位：円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 期末は予想
中間	17.5	17.5	20	22
期末	20	20	20	23
年間	37.5	37.5	40	45
配当性向	48.6%	123.4%	55.2%	39.6%



※　2024年12月31日を基準日として1：2の株式分割を実施。分割以前の配当金を分割後の1株当り配当金に修正して表記

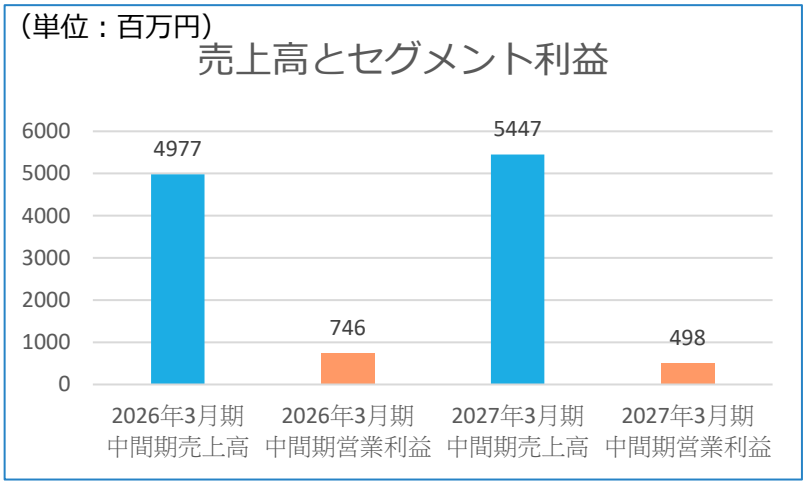
セグメント情報

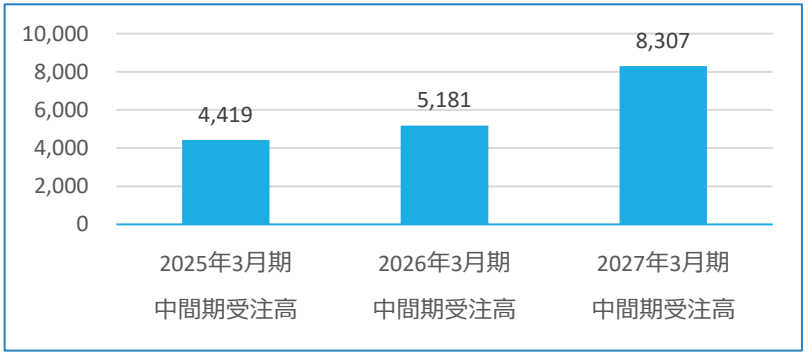
3－①　半導体・メカトロニクス関連事業　概要報告

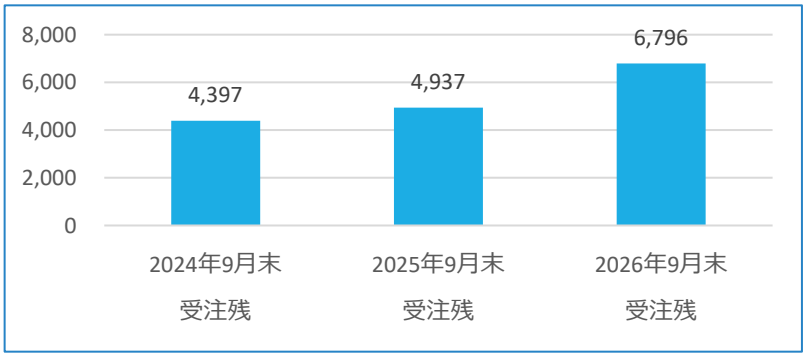
ワイエイシイホールディングス株式会社

取締役執行役員　　**小林　英明**

3-①半導体・メカトロニクス関連事業







セグメントの概要

【業績ハイライト】

売上はHDD関連装置および純水加温装置が堅調に推移。利益面では粗利率の低下により減益。

【受注ハイライト】

HDD関連および半導体関連案件の受注が増加し、受注残は高水準を維持。

【市場トレンド】

HDD関連需要および半導体投資を背景に、下期も堅調な推移を見込む。

【通期見通し】

高水準の受注残を順次売上へ転換し、下期の売上・利益拡大を目指す。

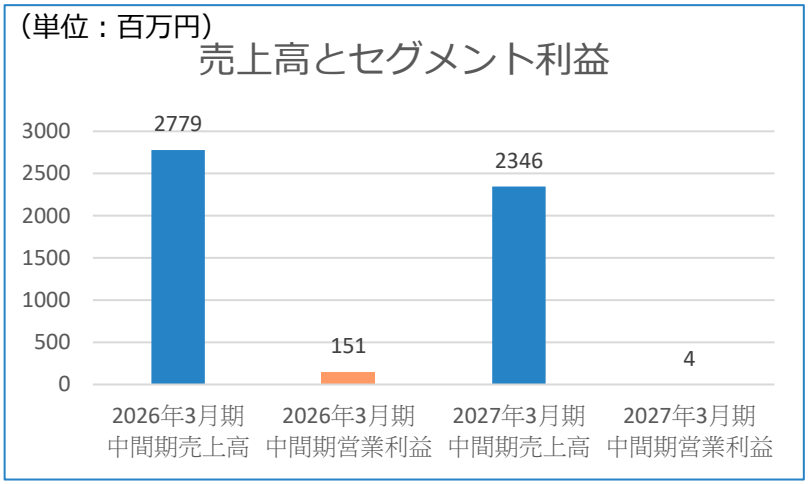
セグメント情報

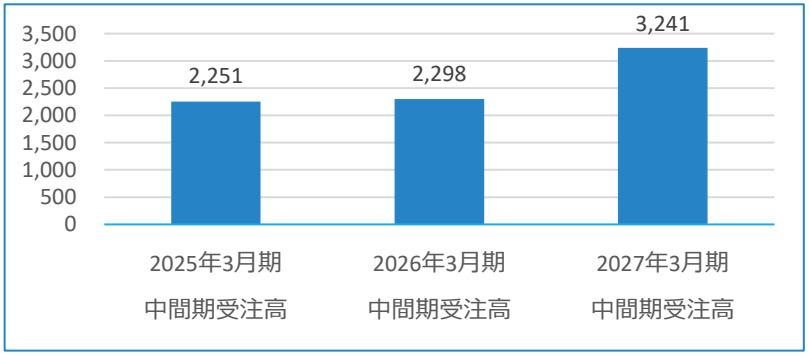
3-②　医療・ヘルスケア関連事業　概要報告

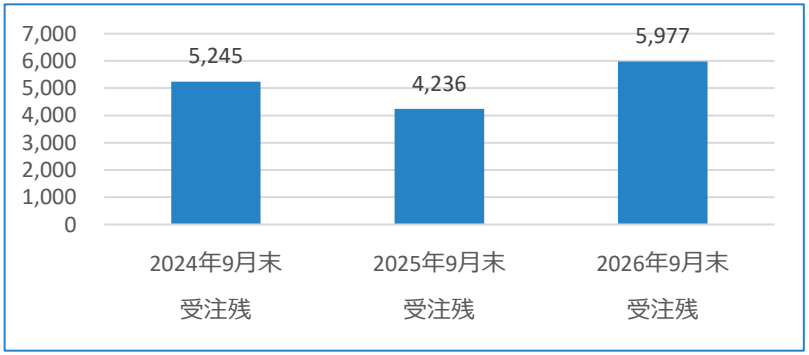
ワイエイシイエレックス株式会社

代表取締役社長　　**花木　浩伸**

3-②医療・ヘルスケア関連事業







セグメントの概要

【業績ハイライト】

上期は部品調達難で減収減益。
YSSは前年同期比で増収。

【受注ハイライト】

受注高・受注残は前年同期比約4割増。
YSSがHDD関連の大型案件を獲得。

【市場と受注動向】

エレックスは新型人工透析装置の出荷を拡大。
バイオは毛髪関連技術の事業化を推進。

【通期見通し】

下期は透析装置の増産と、YSSの受注済み大型案件の売上計上を見込む。

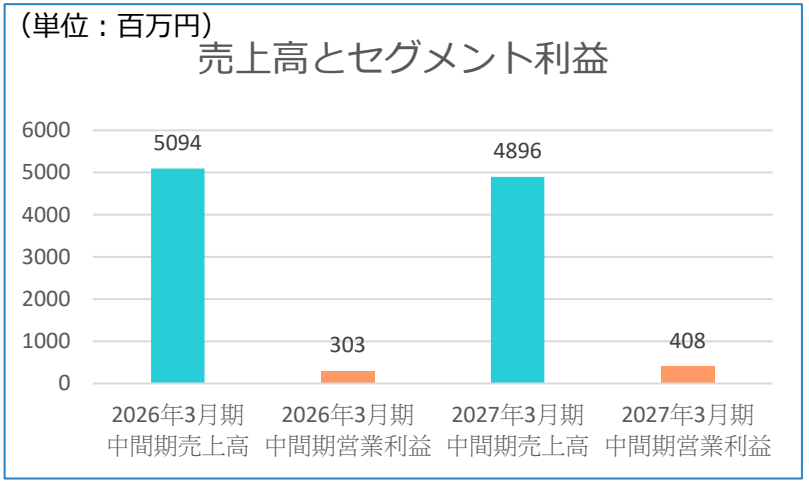
セグメント情報

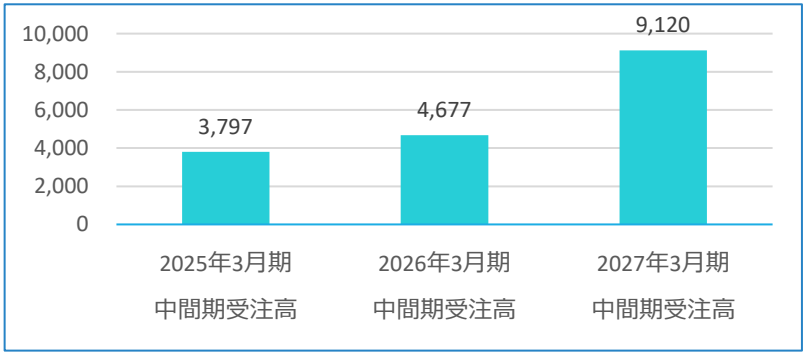
3ー③　環境・社会インフラ関連事業　概要報告

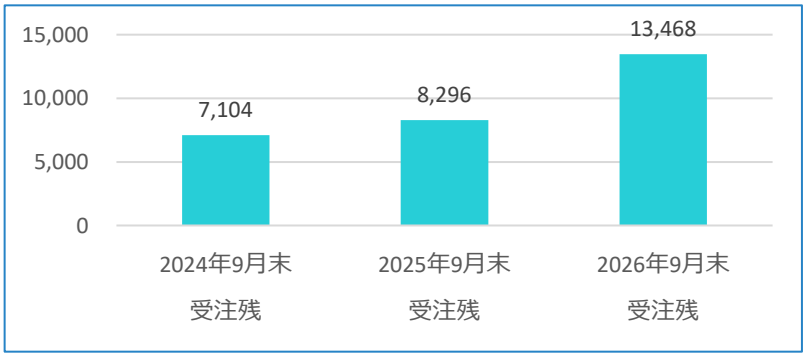
ワイエイシイホールディングス株式会社

取締役専務執行役員　　**大倉　章裕**

3-③環境・社会インフラ関連事業







セグメントの概要

【業績ハイライト】

制御通信機器およびアニール装置の販売拡大により増益。

【受注ハイライト】

蓄電池関連および電力インフラ案件を中心に受注が拡大。受注残も増加。

【市場トレンド】

再生可能エネルギー導入拡大に伴い、蓄電池・制御通信・電力管理分野への投資が活発化。中国FPD底入れ。

【通期見通し】

電力インフラ関連投資は継続すると見込まれ、受注残を背景に成長を見込む。



４　ワイエイシイグループの展望

ワイエイシイホールディングス株式会社

代表取締役社長　　**百瀬　武文**

2030年売上高1,000億円を目指す成長戦略

「より多く社会に貢献するために」

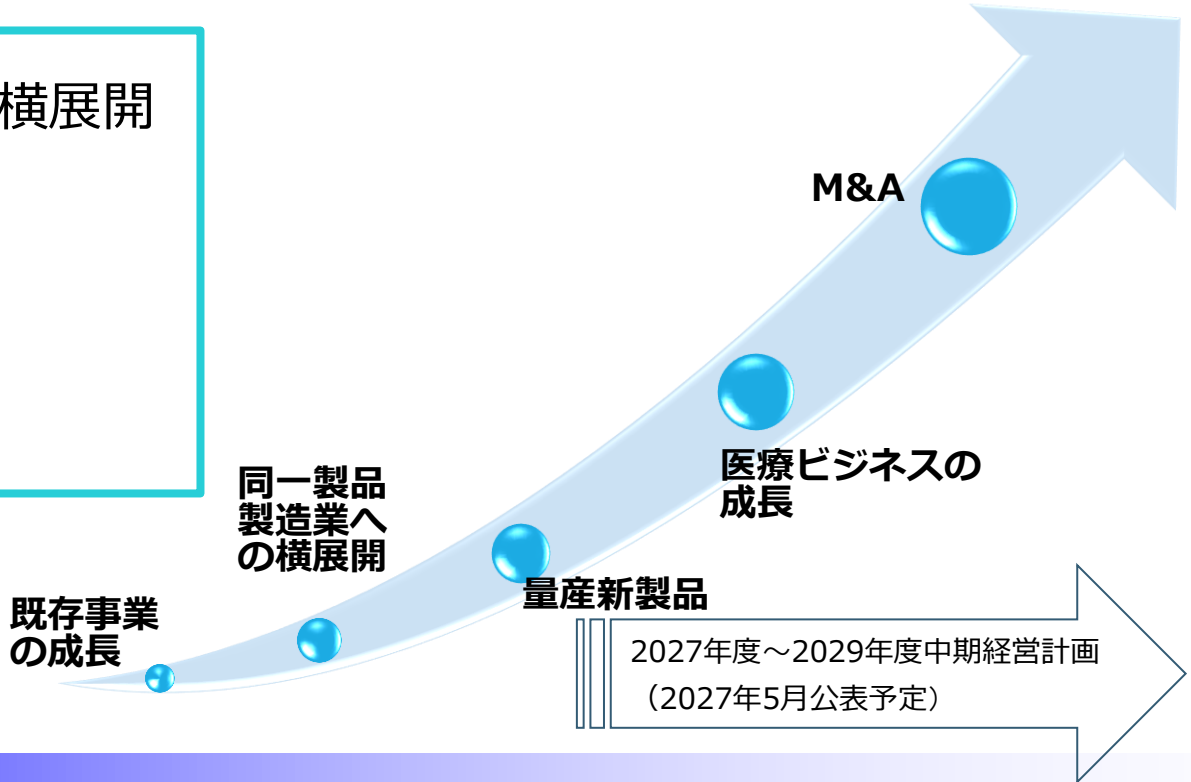
社員への豊かさの供与、納税額の拡大、新製品の創造、地域社会への貢献、株主還元の充実。これらの理念を実現するための成長目標が『2030年売上高1,000億円』です。「企業規模の拡大ではなく、社会貢献の総量拡大を目指します。」

1.既存事業の拡大・横展開

2.量産新製品

3.医療ビジネス

4. M&A



2030年1,000億円達成を支える4つの成長エンジン

「持続的な企業価値向上を実現」

①基盤：既存事業の成長

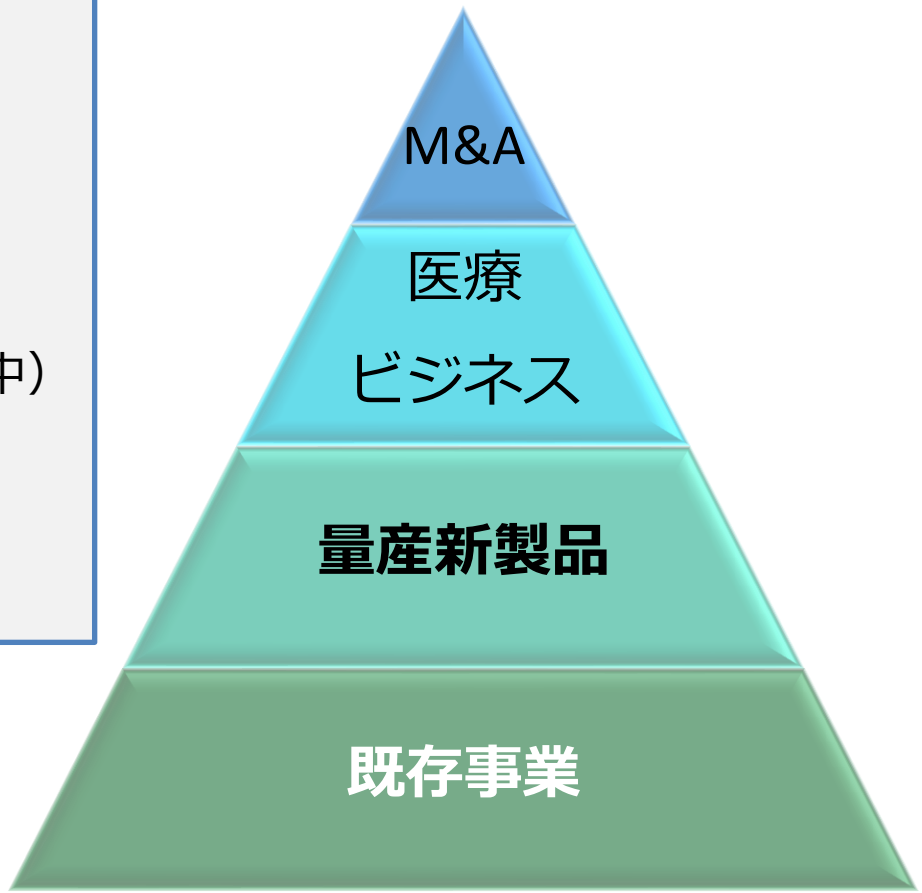
- 同一製品製造業への横展開
- **100億円超**　5社
- **50億円超**　6社

②成長：量産新製品群の成長（15テーマ開発中）

③新領域：B to C 事業の拡大（医療ビジネス）

④非連続成長：M&Aによる成長

※量産新製品：同様の設計図により大量製造できる装置等



「売る力」を変え、「稼ぐ力」を高める

「営業改革と収益性向上を両輪に、2030年売上高1,000億円の実現へ」

営業改革	•個社社長は営業本部長 •個人ベースの競争（営業会議を強化）
経営効率アップ	•一人当たり売上額：１億円 •営業利益率10%以上
粗利率アップ	•依命システムの完全実施／粗利率30%超 •販売価格アップ
財務の健全化	•売掛金の早期回収 •在庫の適正化
全員経営	•「みんなの経営デイ」　前月の総括と次月行動確認 •職務の意識向上

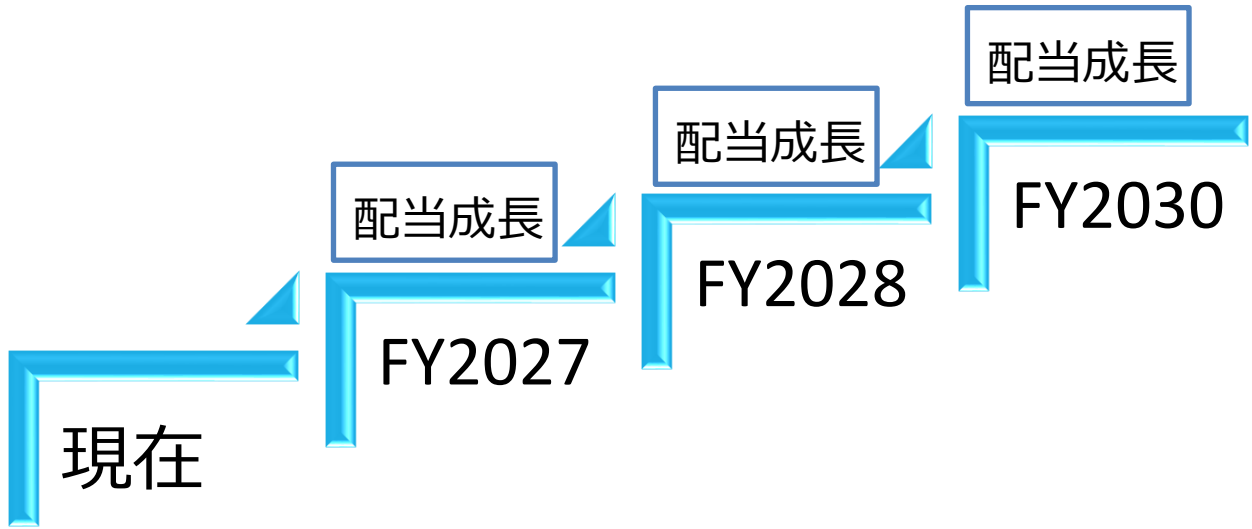
株主還元方針

「成長と還元の両立」

当社は持続的成長と株主還元を経営の重要課題と考えております。

今後も事業成長による利益拡大を図るとともに、累進配当に基づく安定的な株主還元方針を堅持してまいります。

中長期的には、現在水準を上回る配当の実現を目指し、企業価値向上の成果を株主の皆様と共有してまいります。



さあ今日も、明るく、元気よく

ときめきと感動の日々であれ！

しなやか先端技術企業集団

ワイエイシイグループ